

2021年度入学前アンケート調査結果報告

<調査概要>

□ 調査の方法

調査対象 2021年度学部入学者 ※ただし、法学部入学者及び編入学・転籍者を除く

調査時期 2020年10月上旬～2021年3月31日

調査方法 記名式による郵送調査（入学手続き書類に同封）

回収状況 回収率：97.3% 対象者数：5,745人 有効回答数：5,591件

□ グラフ参照時における共通注意事項

端数処理の関係上、合計と内訳が小数点第一以下で一致しないことがある。

1. 学部入学理由

図1は、「あなたがこの学部に入る理由はなんですか」（“当てはまる”～“まったく当てはまらない”の4件法）の回答結果となる。それぞれ、肯定的回答（“当てはまる”あるいは“やや当てはまる”と回答した者の割合。以下同様）が図の右側となるように示している。

肯定的回答が7割を超えていたのは、「専門分野に興味があったから」、「将来就きたい仕事と関係があるから」、「就職に有利だと思ったから」、「自分の学力レベルと合っていたから」の4項目となる。また、「より志望順位の高い大学（又は学部）に受からなかったから」は40.9%の学生が“当てはまる”あるいは“やや当てはまる”と回答し、「法政大学であればどの学部でも良かったから」は、“まったく当てはまらない”が54.9%、“あまり当てはまらない”が31.8%であった。

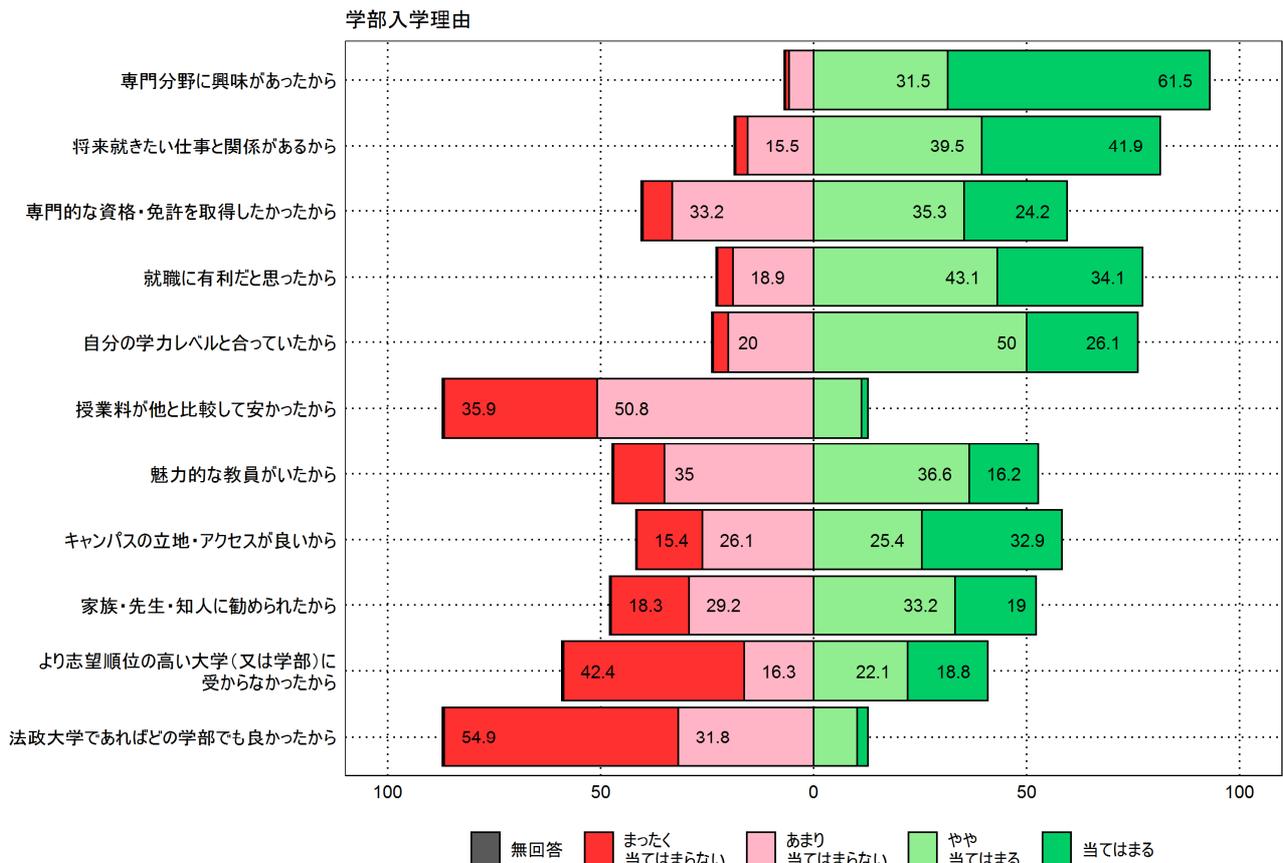


図1 学部入学理由

2. 在学中に取り組みたいこと（活動意欲）

図2は、「法政大学在学中にどのようなことに取り組みたいですか」（“そう思う”～“そう思わない”の5件法）の回答結果となる。それぞれ、肯定的回答（“そう思う”あるいは“いづらかそう思う”と回答した者の割合。以下同様）が図の右側となるように示している。

「将来の仕事に役立つ知識やスキルを身につけたい」、「広い教養・ものの見方を身につけたい」、「有意義な人間関係を築きたい」、「専門分野の知識・理解を深めたい」「社会人になるまでの時間を楽しみたい」の5項目は、いずれも肯定的回答が9割を超える。そして、「スポーツ・サークル活動に力を入れたい」、「資格試験・公務員試験などに合格したい」は肯定的回答が約7割を超えており、「留学や国際交流に取り組みたい」は約6割と続いた。

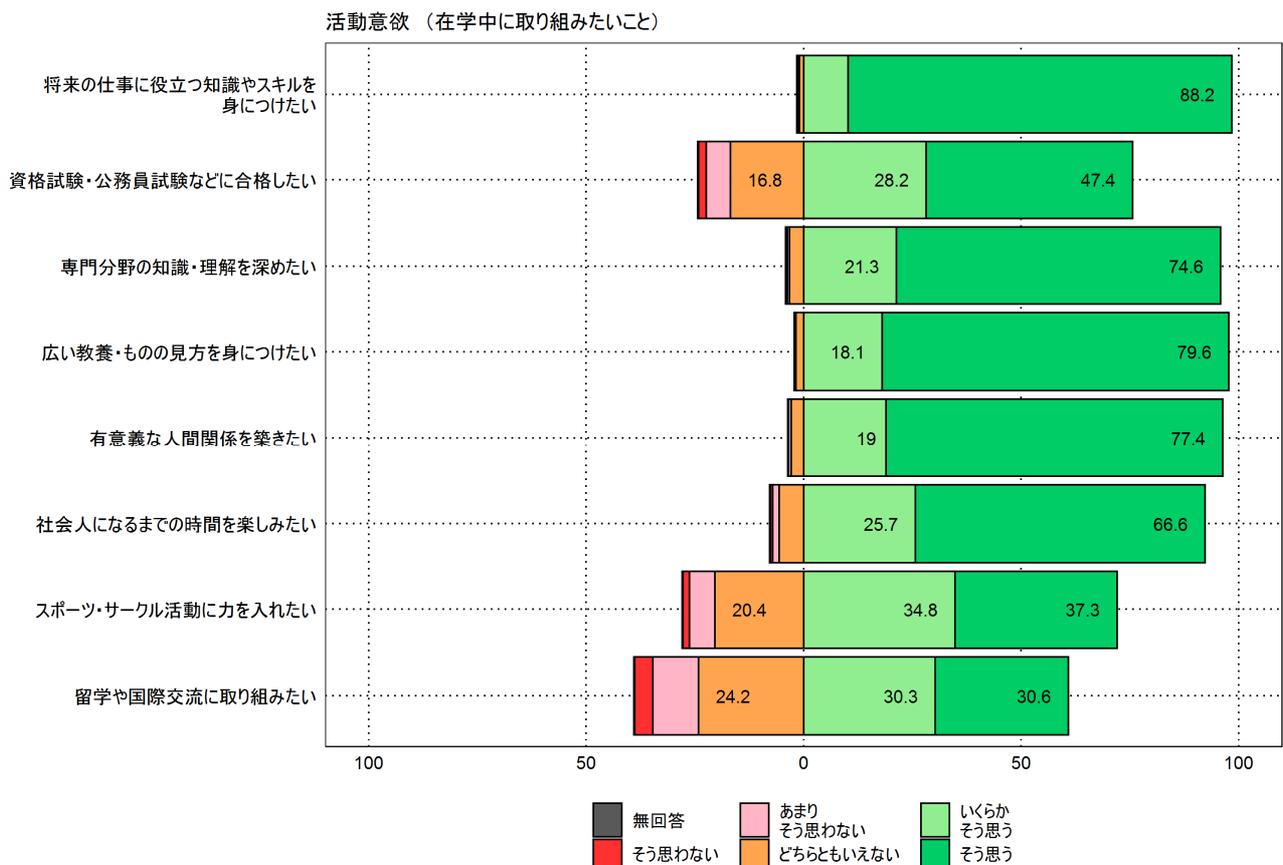


図2 在学中に取り組みたいこと

3. 入学前経験

図3は、「あなたは、入学前に次のようなことをどの程度経験しましたか」（“よく経験した”～“ほとんど経験しなかった”の4件法）の回答結果となる。それぞれ、経験豊富（“よく経験した”あるいは“ある程度経験した”と回答した者の割合。以下同様）が図の右側となるように示した。

経験を4種類に分けて確認する。第1に、課題対応的学習経験として尋ねた「定期テストや模試対策の勉強」、「受験勉強」、「授業の予習や復習」は、いずれも経験豊富な学生が8割以上である。第2に交流・課外活動経験をみると、「友人との交流」は非常に多くの学生が経験豊富に含まれ、「課外活動（部活動・ボランティア等）」と「先生との交流」も経験豊富が7割を超える。しかし「海外の人との交流」は、経験豊富な学生が少なかった。教育環境経験として尋ねた「自分の考えや意見の発表」、「先生への勉強に関する質問」、「生徒同士の議論」は、いずれも経験豊富が7割となる。第4に、能動的学習経験として尋ねた「授業以外で興味のあることの勉強」、「読書（マンガ・雑誌を除く）」、「入学する学部・学科の専門分野と関係することの勉強」、「将来就きたい職と関係することの勉強」は、その多くで経験豊富な学生が過半数を超える一方で、“よく経験した”の回答は10%台～20%台とあまり多くない。

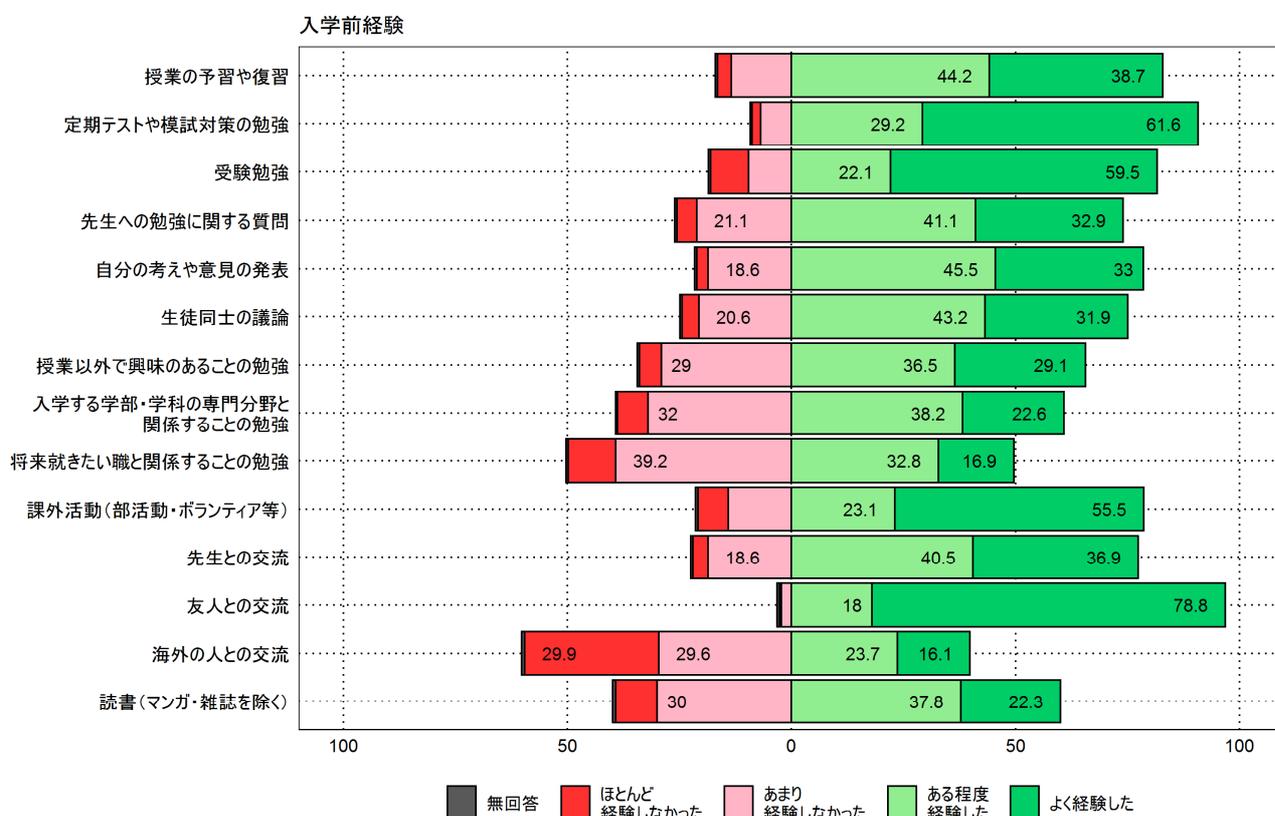


図3 入学前の経験

4. 法政大学のイメージ

図4は、法政大学に入学するにあたり良いと思うことはどのようなことですか。あなたのイメージと近いものを選んで、該当する番号を○で囲んでください（“そう思う”～“そう思わない”の4件法）の回答結果となる。それぞれ、肯定的回答（“そう思う”あるいは“いくらかそう思う”と回答した者の割合。以下同様）が図の右側となるように示している。

「伝統のある大学である」、「自由な校風の大学である」、「課外活動（部活動・サークル活動等）が活発である」、「スポーツの強い大学である」、「国内外で社会的に活躍する教員が多い」、「国内外で活躍する卒業生が多い」、「グローバルな教育が実践されている」のすべての項目において、いずれも肯定的回答が7割を占めている。

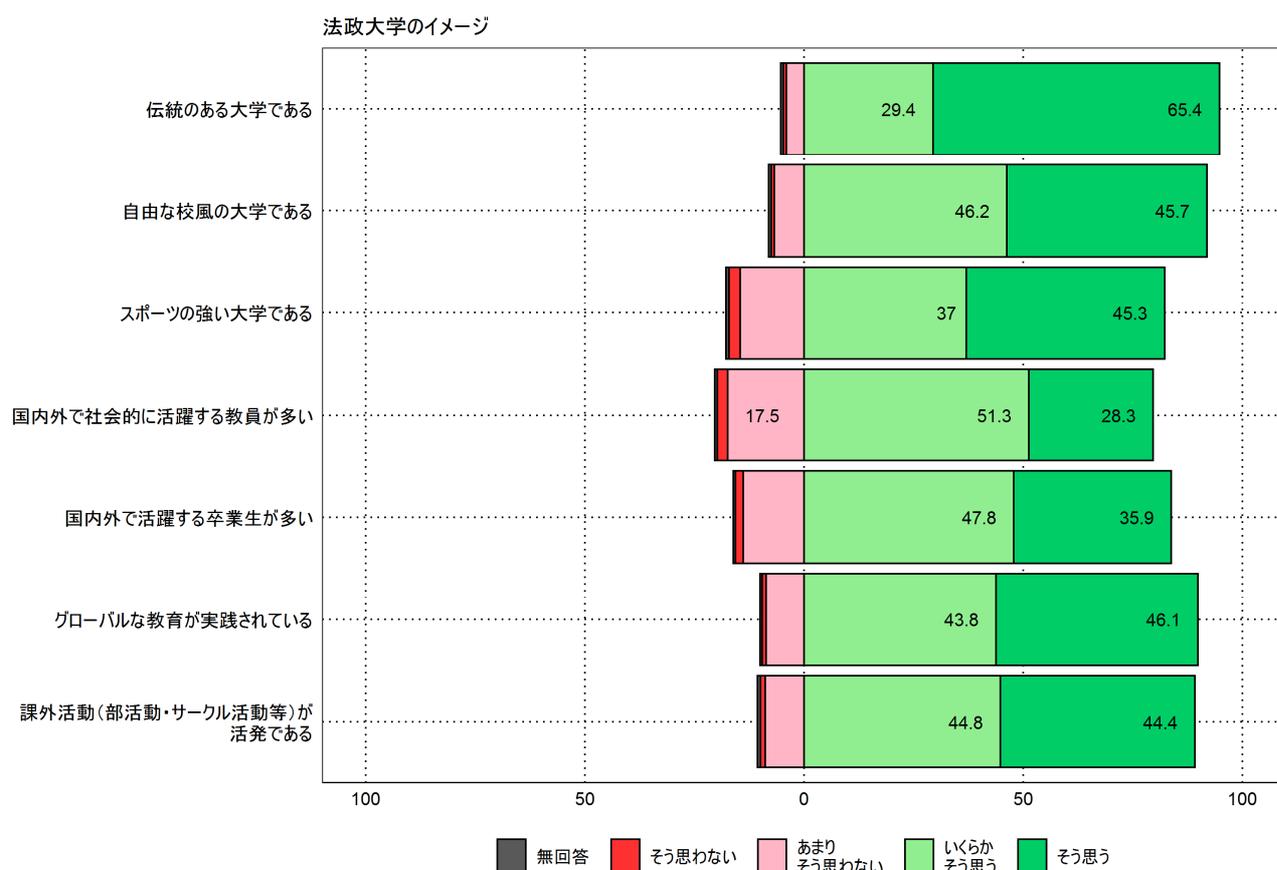


図4 法政大学のイメージ

5. 法政大学推奨度

図5は、「もし、あなたの身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、法政大学を勧めたいと思いますか」（“そう思う”～“そう思わない”の5件法）の回答結果となる。それぞれ、肯定的回答（“そう思う”あるいは“いくらかそう思う”と回答した者の割合。以下同様）が図の右側となるように示している。

結果を確認すると、“そう思う”が47.7%、“いくらかそう思う”が34.8%であり、肯定的回答が約8割を占めた。

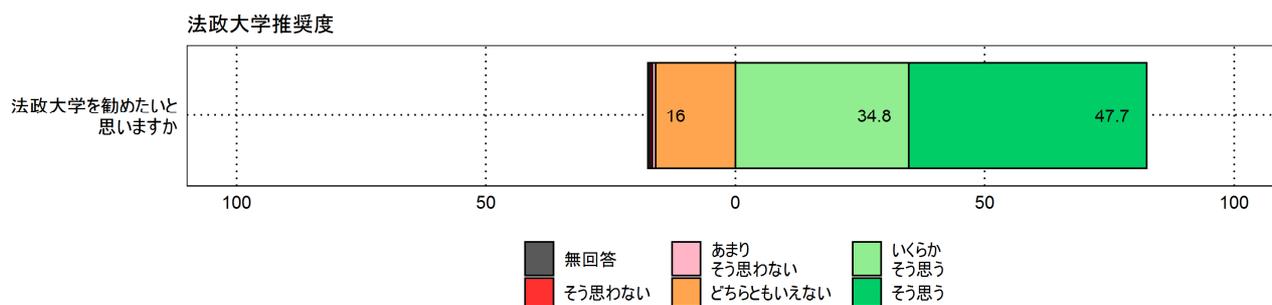


図5 法政大学推奨度

以上